

2018 年 4 月 16 日

リーディング大学院 市民シンポジウム開催報告

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科
博士課程教育 熱帯病・新興感染症制御
グローバルリーダー育成プログラム 3 年
長谷川光子 明石麻衣子 藤岡充史

2018 年 3 月 28 日に「平成 29 年度リーディング大学院市民シンポジウム」を開催致しましたので、下記の通りご報告申し上げます。

記

シンポジウム概要

名称 : 平成 29 年度リーディング大学院市民シンポジウム

『可能性は無限大 ―国際協力から私を知る―』

日時 : 2018 年 3 月 28 日(水) 17:30~19:40

場所 : 長崎大学坂本キャンパス良順会館ボードインホール

内容 : 講演 2 題, 高校生の活動報告発表, 市民と専門家によるディスカッション

後援 : JICA 九州, 在福岡ベトナム総領事館

主催者: リーディング大学院生 長谷川光子 明石麻衣子 藤岡充史

参加者: 約 70 名 (外部約 50 名, 内部 20 名)

シンポジウム詳細

今回の市民シンポジウムは、リーディング大学院 2 年生を中心に企画・運営して参りました。中高生・大学生などの若い世代をターゲットに、国際協力や海外に関心を持ってもらうための学びや広い視野を共有する機会を提供すること、そして、それぞれの将来の可能性を広げてもらおうという狙いで実施しました。

事前の広告宣伝活動では、長崎東高校・長崎南高校の高校生および先生方と面談を行い、ポスターも高校・大学、図書館等の教育関連機関を中心に配付しました。また、路面電車にも中吊り広告を掲出しました。これらの活動により、当日の参加者の約 4 割が 10 代、1 割が 20 代と、若い世代が過半数を占めました(終了後のアンケート結果より)。



シンポジウム当日は日本人の大学院生のみならず、多くの留学生が運営に携わり、高校生との交流の場、そして、多国籍の学生が学ぶリーディング大学院の特色のPRにもつながりました。

第一部では藤岡が座長を務め、在福岡ベトナム総領事グエン・フォン・ホン先生と畝伊智朗先生（元 JICA 研究所所長、現 吉備国際大学大学院連合国際協力研究科長）が講演しました。演者の経験を通して国際交流・国際協力が語られ、次世代の若者に挑戦への勇気と希望を贈る内容となりました。アンケートでは「講演時間を長くしてほしい」「質疑応答の時間がもっとほしい」等の声が寄せられました。



第二部では、ベトナムでフィールドワークを行なった長崎東高校の高校生5名が活動報告をしました。演者の畝先生からは「高校生の皆さんの発表は素晴らしかった。日本の将来も明るいと思う」との感想が届けました。発表後は、ホン先生、畝先生、青年海外協力隊 OBOG に加え、高校生5名（長崎東高校・長崎南高校）によるディスカッションを行いました。ファシリテーターは明石が務めました。高校生や会場からの専門家・OBOG への質疑応答、また、国際協力に関する経験や活動を通して感じたことや今後のビジョンなどが語られました。



所感

今回の市民シンポジウムを通し、主催の学生一同は、企画の実現力、調整力、全体を把握し運営するマネジメント力を身につけることができたと感じております。また、報告者は、組織のリーダーというのは、次世代のリーダーを育成することを通してリーダーとして完成していくと考えています。この点で、本シンポジウムは、自らがリーダー候補として、次世代を担う若者を刺激し、次のリーダーへと導くためのきっかけを提供でき、リーディング大学院生らしいイベントになったと考えております。

最後に、今回のシンポジウム運営にあたり、お世話になりましたリーディング大学院の先生方、とりわけ久保先生のサポート、また細やかにご対応くださった事務局の皆様には厚く御礼申し上げます。学生主体の企画・運営とはいえ先生方・事務局の皆様のご指導・ご支援・ご協力無くしては、無事故の運営はできませんでした。誠にありがとうございました。今回の経験を次世代の育成、また、それぞれの分野で将来、リーダーとして活かして参ります。

以上